

令和8年度 地方(県内)審査会実施要項

令和8年3月5日

三重県弓道連盟
審査部

審査会日程

- 1、 審査会期日、会場、申し込み締め切り日等は別紙「地方(県内)審査会日程表」のとおり。

受審資格

- 1、 連盟会員であり、令和8年度連盟会費納入者であること。
- 2、 弐段受審者からは、現段位認許後満5ヶ月以上経過していること。
- 3、 初めての受審、現在二級～五級の既得者は、無指定(初段)か、無指定(級位)で受審のこと。
- 4、 各審査会について、審査会日程表の受審資格欄を参照のこと。

審査方法

- 1、 行射審査は審査規定別表2「審査における行射の要領(5人立ちの場合:弓道衣着用、和服着用共通)」に基づき行う。
＜＜審査規定は全日本弓道連盟ホームページから入手すること＞＞
- 2、 無指定から四段まで弓道衣着用で行う。
- 3、 学科は筆記試験を行う。 → **自筆レポートを審査会受付に提出。**

審査料及び登録料・協力金

(別紙参照)

学科審査問題

- 1、 全日本弓道連盟による「令和8年度版 地方・連合審査会 学科試験問題」に基づき出題する。
- 2、 学科審査問題は、支部・団体申請者へ事前に連絡するので、受審者に周知のこと。
- 3、 解答は、日本語もしくは英語で記入のこと

申込先及び申込方法

- 1、 審査申込書は支部・団体毎に取りまとめて、「(添書)県内審査申込について」を作成し、以下宛へ添え書と一緒に郵送(速達)等で申し込む。又、添書は必ずEメールでも送信すること。
これら締切り日必着で、審査料の振込みと共に完了すること。
- 2、 〒510-0885 四日市市日永1-11-1 **三重県弓道連盟審査事務局 岡部 仁志 宛**
TEL:090-9123-3339
Eメール送付先:県連HP「審査会・大会等の申込み方法について」参照
- 3、 審査料の払込は、ゆうちょダイレクト(郵便振替払込取扱票*等も可)を利用のこと。
※払込取扱票にはご依頼人の欄に支部(団体)・学校名を記入のこと。
「払込金受領証」は添付の必要は無いが、審査終了まで保管すること。
- 4、 ゆうちょダイレクト(もしくは郵便振替払込取扱票使用にて、間違いないように下記の口座に送金のこと。

口座番号	00880-4-90638	加入者名	三重県弓道連盟審査事務局
------	---------------	------	--------------
- 5、 *申し込み締め切り後の受審辞退は返金しない。
(但し、災害等の不可抗力が理由で受審できない場合は返金する)

申込書記載について

- 1、 審査申込書は**旧様式のもの**は使用しないこと。(別紙「級位・五段以下用審査申込書」を使用)
※記入要領に従い、該当しない箇所をのぞき、すべて正しく記入のこと。
*また、コピーを重ね縮小・拡大したものは使用しないこと。
- 2、 **会員IDを正しく記入のこと。(事前に会員登録を済ませID番号を取得のこと。)**
また、会費未納入等で休会になっている方は、必ず支部を通じて県連登録を復帰すること。
- 3、 **現在の級・段位の取得年月日・受審場所を正しく記入のこと。**
- 4、 審査申込書及び学科レポートはフリクションボールペンを使用しないこと
- 5、 審査申込書の下の特外(注)をよく読み記入すること。
* 弓歴欄及び昇級昇段歴に記載漏れのない様にする。 (他県からの所属変更の年月など)
* **和暦で記入すること** * PC入力可、但し氏名欄はかならず自署すること 等
- 6、 立射で受審する際には、審査申込書にその旨を朱筆で記入し、別添「立射による受審申請書」を添付して申込むこと。医師の診断書は無くてもよい。

(その他)

- 1、 審査申込書及び「(添書)県内審査申し込みについて」の用紙は、支部(団体)・学校等でコピー等して使用のこと。
- 2、 「(添書)県内審査申込について」は改訂版(2026版以降)を使用し、必ず審査申込書の右上に申込種別毎に連番をつけた上、添書にはその番号と対応した受審者名とID番号を記入のこと。
添書は、Excelのファイルで作成し、メールで送信願う。(添付ファイルにして)
種別内の受審者記入順はできるだけ会員名簿順に記入のこと。
記入欄が不足の場合は段位を分けずにID、種別と連番を書き、記入の事(不足時はそれでも不足時はシートを増やして記載

*** 審査事務の効率化の為ご協力をお願いします。**

- 3、 **支部(団体)長・顧問は内容をよく確認の上、支部名、及び署名・捺印し提出のこと。**
- 4、 受審者の氏名の表記は、全弓連で使用できる範囲の文字による表記になるので、審査における文書はすべてこの範囲での表記となる。
認許証の名前表記を、戸籍に表記された文字の使用を希望し、自分で対応する場合(自書、自分で筆耕を依頼、学校の場合は校内で記入等)については、氏名欄が未記入の認許証の発行が可能なので、審査申込書の左下空欄にその旨朱筆で記入すること。
申込郵送時の添え書には、該当する人の氏名部分に朱筆で○を記載すること

審査会当日の注意事項(於三重武道館)

- 1、 **控室は審査会日程表の会場欄(控室)を確認し参加すること**
控室がない場合は、観覧席を、「受審者の時間内の荷物置き場」として使用する。
- 2、 **出来るだけ自宅にて弓道衣に着替えを済ませてくること。**
着替えが必要な場合は、控室(アリーナ控室、多目的室)、武道場が控室の場合は武道場前更衣室を利用すること。
(ロビーでの更衣は行わないこと)
- 3、 学科問題は、課題を審査2週間前迄に通知するので、**自筆レポート**として当日受付に提出のこと。
(レポート様式(A4)は所定のものを使用し、1枚に2問解答すること)
昨今のチャットGPTや模範解答を書き写しでの解答を行わないこと。
- 4、 当日、やむを得ず欠席の場合は、顧問、他の受審者を通じ受付に連絡すること。
- 5、 **受付(弓道場入口)は個々の審査開始1時間前に済ますこと(立順は事前に通知する)。**
- 6、 **受審者は個々の立30分前に第3控に入ること。(当日立順が早まることもある為注意すること)**
第3控に遅刻したり、呼び出しに応じない場合は、棄権したものとみなす。
- 7、 審査申込書を提出後、何らかの理由で立射で受審する場合は、当日受付にて、「立射による受審申請書」を提出し、審査委員長の承認を受けること。
- 8、 **行射終了後は、速やかに弓具を片付け、弓道場から退館すること。**
- 9、 **結果発表は後日支部に登録料振込締め切り日(通常審査1週間後)と共に連絡するので、必ず締め切り日までに支部で纏めて口座に振込むこと。**
- 10、 暴風雨、暴風雪等により審査会場が閉館された場合は中止とする。(6:30に決定)

以上

令和8年度 地方(県内)審査会日程表

令和8年2月10日

審査会名	要 項		###
第1回審査会(三重武) (展開済)	年月日	令和8年 4月 26日(日) 9:00	
	会場	三重武道館弓道場 (控室:サオリーナ多目的室1)	
	審査種別	無指定から四段まで	
	受審資格	令和7年11月26日以前に現在の段位が認許された者	
	県連締め切り日	令和8年 3月 27日(金)	
	支部締め切り日	年 月 日	
高校生特別審査会 (三重武)	年月日	令和8年 6月 6日(土) 9:00	
	会場	三重武道館弓道場 (控室:弓道場観覧席)	
	審査種別	無指定・初段	
	受審資格	弓道部に所属し、日ごろの練習に励み、初段取得に取り組んできた者で、顧問から推薦のある3年生以上の高校生を対象とする。 詳細は別途要項による	
	県連締め切り日	令和8年 5月 8日(金)	
	支部締め切り日	年 月 日	
第2回審査会(三重武)	年月日	令和8年 6月 28日(日) 9:00	
	会場	三重武道館弓道場 (控室:サオリーナ控室)	
	審査種別	無指定から四段まで	
	受審資格	令和8年1月28日以前に現在の段位が認許された者	
	県連締め切り日	令和8年 5月 29日(金)	
	支部締め切り日	年 月 日	
第3回審査会(三重武)	年月日	令和8年 8月 9日(日) 9:00	
	会場	三重武道館弓道場 (控室:MHW剣道場A)	
	審査種別	無指定から四段まで	
	受審資格	令和8年3月9日以前に現在の段位が認許された者	
	県連締め切り日	令和8年 7月 10日(金)	
	支部締め切り日	年 月 日	
第4回審査会(三重武)	年月日	令和8年 10月 4日(日) 9:00	
	会場	三重武道館弓道場 (控室:弓道場観覧席)	
	審査種別	無指定から四段まで	
	受審資格	令和8年5月4日以前に現在の段位が認許された者	
	県連締め切り日	令和8年 9月 4日(金)	
	支部締め切り日	年 月 日	
第5回審査会(三重武)	年月日	令和8年 12月 13日(日) 9:00	
	会場	三重武道館弓道場 (控室:サオリーナ多目的室1)	
	審査種別	無指定・初段	
	受審資格	—	
	県連締め切り日	令和8年 11月 13日(金)	
	支部締め切り日	年 月 日	
第6回審査会(三重武)	年月日	令和9年 2月 21日(日) 9:00	
	会場	三重武道館弓道場 (控室:サオリーナ控室)	
	審査種別	無指定から四段まで	
	受審資格	令和8年9月21日以前に現在の段位が認許された者	
	県連締め切り日	令和9年 1月 22日(金)	
	支部締め切り日	年 月 日	

以上

添書

Excel版を三弓連HPから入手ください。 令和 年 月 日

三重県弓道連盟 御中

支部(団体)又は学校名()

会長又は顧問名(2026/3/5

県内審査申し込みについて

標記の件、「審査申込書」を添えて下記のとおり申し込みます。
なお、審査料の送金については下記のとおりですのでご確認願います。

記

郵便振替 令和 年 月 日 送金し(ます。 ました。)

口座番号	00880-4-90638	加入者名	三重県弓道連盟審査事務局
------	---------------	------	--------------

	受審者数	審査料(円)	合計	備考
無指定(級位)	名	1,030	0 円	
無指定(初段)	名	2,050	0 円	
初 段	名	2,050	0 円	
弐 段	名	3,100	0 円	
参 段	名	4,100	0 円	
四 段	名	5,100	0 円	
合 計	0 名		0	

申込 番号	無指定(級位)		申込 番号	初 段		申込 番号	弐 段	
	ID番号	氏名		ID番号	氏名		ID番号	氏名
1			1			1		
2			2			2		
3			3			3		
4			4			4		
5			5			5		
6			6			6		
7			7			7		
8			8			8		
9			9			9		
10			10					
申込 番号	無指定(初段)		11			申込 番号	参 段	
	ID番号	氏名	12				ID番号	氏名
1			13			1		
2			14			2		
3			15			3		
4			16			4		
5			17			5		
6			18			6		
申込 番号			19			申込 番号	四 段	
	ID番号	氏名	20				ID番号	氏名
8			21			1		
9			22			2		
10			23			3		
11			24			4		
12						5		

* 記入欄が不足の場合は隣の欄を利用し、わかるように種別と連番を書き、記入願う。

ID番号で受付入力するので間違えないように記入すること。

県連登録時の氏名文字を使用の事

審査料・登録料・事務管理料

全日本弓道連盟・三重県弓道連盟

R8. 4. 1

(単位：円)

段位・称号	審査料		全弓連登録料	三弓連事務管理料	計
無指定級位	1,030		1,030	500	1,530
無指定初段	2,050	級位	1,030	500	1,530
		初段	3,100	1,000	4,100
初段	2,050		3,100	1,000	4,100
弐段	3,100		4,100	1,500	5,600
参段	4,100		5,100	2,000	7,100
四段	5,100		6,200	3,000	9,200
五段	6,200		10,300	5,000	15,300
六段	7,200		30,900	10,000	40,900
七段	8,200		51,000	20,000	71,000
八段	10,300		72,000	30,000	102,000
錬士	6,200		41,000	20,000	61,000
教士	9,300		62,000	30,000	92,000

- 1 審査料は、支部で取りまとめて県内審査会は審査部口座へ、連合審査会及び中央審査会は県連口座に振込むこと。
- 2 県内審査会の登録料及び事務管理料は支部で取りまとめて期限内に審査部口座へ振込むこと。
- 3 連合審査会、中央審査会の登録料及び事務管理料は、各自が速やかに県連口座に振込こと。

※ 審査部口座 ゆうちょ銀行 00880-4-90638 三重県弓道連盟審査事務局
 県連口座 ゆうちょ銀行 00890-3-98088 三重県弓道連盟

審査申込書

(級位・五段以下用)

公認

Excel版を三弓連HPから入手ください。

申込日 年 月 日

氏名 (自署)	〒		都道府県		生年月日	年 月 日生	審査当日：満 才
住所	〒 都道府県 自宅電話/携帯電話 ()						
受審する 審査種別	無指定	現在の 級位	級	年 月 日	認許	於： () 審査会	
	級の部 段	現在の 段位	段	年 月 日	認許	於： () 審査会	
区分 (何れかに○印)	A 一般	B 大学生・生徒(小・中・高)		学校名： (年)			
弓歴	年 月	都道府県 で弓道始める					
昇級・昇段歴 (年月を記入)		入賞歴 (全国規模の大会が対象)			地連・支部・団体・学校等の役員歴		
五級	年 月	初段	年 月	年	月	内容	年 月 内容
四級	年 月	弐段	年 月				
三級	年 月	参段	年 月				
二級	年 月	四段	年 月				
一級	年 月						
指導者等の資格(他競技の資格含)							
保護者承認 高校生以下は必須	〒 緊急連絡先 ()						
支部長承認 学校責任者承認	〒						
上記の者の受審を認めます。							
				地連名			
				会長名 ⑨			

- 注・受審者は太線枠内の事項について記載のこと。
 ・年月日は和暦で記載のこと。
 ・申込書及び学科レポートに虚偽の記載がある場合には、無効とする。
 ・氏名欄は、自署で記載すること。

受付1	受付2	受付3(全弓連)

審査種別	
審査名称	
審査施行日	年 月 日
会場名	
受審者連絡欄 (立射など)	※朱書きのこと
氏名(自署)	
会員ID	

2022. 3

立番 ()

審査申込書記入要領(県内審査用)

(補足-14) 受審段位別
申込書番号(添書きに対応)

審査申込書

(級位・五段以下用)

公益財団法人全日本弓道連盟 会長 殿

(補足-10)

申込日 年 月 日

ふりがな	(姓) (補足-1) (名)		男	生年月日	年 月 日
氏名(自署)	⑩		女	(補足-2)	審査当日：満 才
住所	〒 都道府県 (補足-3) 自宅電話/携帯電話 ()				
受審する審査種別	無指定	現在の級位	級	年 月 日 認許	
	級の部段	現在の段位	段	於：(補足-4) 審査会	
区分(何れかに○印)	A 一般	B 大学生・生徒(小・中・高)	学校名：(補足-5)		年
弓歴	年 月 (補足-6)	都道府県 (補足-7)	で弓道始める		
昇級・昇段歴(年月を記入)	入賞歴(全国規模の大会が対象)		地連・支部・団体・学校等の役員歴		
五級	初段	年 月	年 月	内容	年 月 内容
四級	弐段	年 月	(補足-8)		
三級	参段	年 月			
二級	四段	年 月			
一級		年 月			
指導者等の資格(他競技の資格含) コーチ 1					
保護者承認 高校生以下は必須	(補足-10) ⑩		緊急連絡先 ()		
支部長承認 学校責任者承認	(補足-9)		(補足-10) ⑩		
上記の者の受審を認めます。					
			地連名		
			会長名 ⑩		

- 注・受審者は太線枠内の事項について記載のこと。
 ・年月日は和暦で記載のこと。
 ・申込書及び学科レポートに虚偽の記載がある場合には、無効とする。
 ・氏名欄は、自署で記載すること。

県内審査では記入不要

受付1	受付2	受付3(全弓連)

審査種別	(上記の受審する審査種別を記入)
審査名称	(受審審査名称を記入。(補足-11))
審査施行日	年 月 日
会場名	
受審者連絡欄(立射など)	赤字で記入のこと。立射は申請書を添付のこと(補足-12) のこと
氏名(自署)	(補足-1)
会員ID	

間違いのない様確認して記入のこと(補足-13)

2026.3

(注)補足は次ページ参照

立番 ()

記入要領補足

補足-1	必ず「氏名」「ふりがな」自署すること
補足-2	年月日は和暦で記入のこと
補足-3	新規および2級～5級の既得者は無指定で受審の事(申請時に級位希望/初段希望を記載) 無指定の右横に(級位)又は(初段)を記載 下部の「審査種別」へは同じ内容を記載
補足-4	第1回(三重武)のように、その年の何回目かと審査会場所を記入する(年度は認許年月日でわかるので記入不要)県外の審査会で認許された場合は、その実施場所・審査名を記入する。
補足-5	各支部での登録者は A 一般 を選択するが、高校生以下の場合には、 Aを○で囲んだ上B欄 に現在通っている学校名と学年を記入する。 年度の変わり目等で、審査日の学年が不明確な場合は、審査日に見込まれる学年を記入する。 入学予定で、学校が決まっていない場合は、「高校入学予定」等の記入をする。
補足-6	弓道を始めた時期(年月)を必ず記入する。
補足-7	弓道を始めたときの教室名、場所名等を記入、学校の弓道部へ入部して始めた場合は、学校名等を記入する。
補足-8	連合主催以上の大会(全弓連、東海連合の大会等)で入賞したものを記入のこと。各地区・支部・団体・奉納大会は対象外。
補足-9	太枠外のため、記入を忘れやすいので注意。支部または学校名、役職、氏名を必ず記入。
補足-10	印鑑の押し忘れが多いので、必要な箇所は必ず押印をすること。
補足-11	県内審査会なので、第1回(三重武)のように、本年度の何回目かと実施場所を記入する。
補足-12	受審に関して通常と異なる要求事項がある場合は、ここに朱筆で記入すること。記入しきれない場合は、枠外空欄にわかる様に記入すること。特に、立射が必要な場合は、朱筆で立射と記入し、「立射による受審申請書」を添付すること。(医師による診断書は必要としない)
補足-13	記入漏れ、記入間違いが多いので、必ず確認の上記入のこと。
補足-14	各支部団体で、申込書添書きの記載に対応する、受審種別(段位)ごとの一連番号を右上に記入する。 (記入例) (1)、(2)の一連番号でよい 例:初-1

以上の要領に従い記入の上、記入漏れ・記入間違いのない事を確認してから提出すること。